



今この状況だから考えられること

日頃より、本校の教育活動にご支援、ご協力いただきありがとうございます。保護者の皆様には、お子様の健康観察・検温と新型コロナウイルス感染症予防にもご協力いただき感謝いたします。

現在、感染者の増加は収まらず、カタルーニャ州より感染予防対策として、外出時間制限および州外への移動規制などの取組が発令されました。しかし、「学校教育」は、止めないとも言われています。私は、むしろ今だからこそ、学校が一番安全で、なおかつ子どもたちの居場所があるところであると思います。そんな折、幼稚部の吉田園長先生から『せいかいがかぜをひいたから』という絵本を紹介してもらいました。この中には、私たち自身が今考えなければならないことが描かれている絵本だと感じました。

- 1つ目は、「じぶんをだいじにする」こと。
- 2つ目は、「おもいやりをわすれない」こと。

この絵本には、「じぶんをだいじにすると、コロナウイルスにかかりにくくなる。病気に負けない体になる」と描かれています。なぜかといえば、自分自身の体のことを考えて行動するようになるからです。例えば、好き嫌いをなくしたり、しっかり手を洗ったり、あるいは規則正しい毎日を過ごしたりするからでしょう。「1日元気でいたことをほめてあげてほしい」とも描かれています。

また、「おもいやりをわすれない」ことについては、「コロナウイルスにかからないように他の人と、離れないといけないときがあります。だけど心はみんなと一緒に。コロナウイルスにかかったかもしれないと心配な人。かかってしまった人。みんな同じ仲間だよ。優しい気持ちをもってね。人はみんなつながっているんだ。だから、あなたの優しい言葉やとびきりの笑顔が、みんなの気持ちを優しくするんだ」と描かれています。これらは、「ひとりじゃなくみんな一緒であること」と「常に思いやりをもって行動していきましょう」というメッセージです。まさしく、感染者の増加状況である今だからこそ、感染症に対する不安から陥りやすい差別や偏見などをなくし、子どもたちが自分を大事にして、他の人を思いやる気持ちを持ち続ける学校にしていきたいと思います。ご存じかもしれませんが、ぜひご家庭でもお子様と一緒にこの絵本を読まれてみてはいかがでしょうか？

そして、今この状況だからこそ、子どもたちへ夢や希望をもってもらいたいと考えています。私は、子どもたちへ夢や希望をもってもらうには、「本物」を見せたり、「本物」に触れさせたりすることが、一番インパクトのあることと思っています。そこで、今回は、在バルセロナ日本国総領事館より元全日本サッカー代表の香川真司選手のサッカーシューズを寄贈して頂くことになりました。今後は校内に展示し、香川選手となんらかの交流を図りながら、子どもたちが夢や希望をもてる取組を考えていきたいと思っています。
(文責：校長 佐藤修司)



高橋しづこ 作・絵

行事予定

- 11月 8日(日) 第2回英検二次(予定)※
- 16日(月) <中学部>中間テスト 一日目
- 19日(木) <中学部>中間テスト 二日目
- 25日(水) <中学部>学習発表会 一日目
- 26日(木) <中学部>学習発表会 二日目

※第2回英検二次試験の実施可否については、カタルーニャ州教育省に問い合わせをしています。わかり次第、受検者にお知らせします。

お知らせ

COVID-19感染状況により、予定が変わることがあります。今後も、学校よりメール等でお知らせをいたします。